株主メモ

事業年度	毎年3月21日から翌年3月20日まで
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月20日 期末配当金　毎年3月20日 中間配当金　毎年9月20日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	0120-782-031（フリーダイヤル）
URL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告方法	当社の公告方法は電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.alinco.co.jp （ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。）

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の「特別口座について」をご確認ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。上記お問い合わせ先にお願いいたします。

株主優待について

毎年3月20日現在の当社株主名簿に記載された株主様を対象としております。

保有株式数	株主様への株主優待制度	
500株以上 1,000株未満	3年未満保有	1,000円分の商品券
	3年以上継続保有	2,000円分の商品券
1,000株以上 5,000株未満	3年未満保有	2,000円分の商品券
	3年以上継続保有	3,000円分の商品券
5,000株以上 10,000株未満	3年未満保有	4,000円分の商品券
	3年以上継続保有	5,000円分の商品券
10,000株以上	3年未満保有	6,000円分の商品券
	3年以上継続保有	8,000円分の商品券

上記の商品券は三井住友カードの「VJAギフトカード」となります。

アルインコ株式会社

この印刷物は、植物油インキを使用しています。

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

表紙の作品について

表紙のイラストは、mistさん作「the earth」（パラリンアート作品）です。
※パラリンアートとは、障がい者の社会的参加と経済的自立を彼らの芸術的表現を通じて支援する一般社団法人障がい者自立推進機構です。アルインコは、「パラリンアート」を応援しております。

アルインコ株式会社
証券コード:5933

ALINCO REPORT
第52期 中間報告書

2021年3月21日 ≫≫ 2021年9月20日

株主の皆様におかれましては、
平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、第52期（2022年3月期）第2四半期の業績と
通期の業績予想についてご報告申し上げます。

代表取締役会長
井上 雄策

代表取締役社長
小林 宣夫

第2四半期 連結業績
（2022年3月期）

項目	金額
売上高	267億14百万円
営業利益	9億22百万円
経常利益	11億64百万円
親会社株主に帰属する四半期純利益	7億47百万円
EBITDA	26億84百万円

（注）EBITDA＝経常利益＋減価償却費＋のれん償却額

ニッチマーケットでトップ企業に

当社を取り巻く経営環境について

当第２四半期における我が国経済は、コロナ禍の影響により、依然として厳しい状況にありました。ワクチン接種促進などの感染拡大抑制に向けた政策の効果が今後期待されているものの、先行きはなお不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界では、建築着工床面積の前年比増が継続するなど、回復に向けた動きが見られました。

当社の主力製品である新型足場「アルバトロス」の販売は、コロナ禍の影響が顕在化する直前の2019年10月～2020年3月の水準にまで回復しました。また、レンタル関連事業においては、仮設機材の稼働率が一昨年同時期のコロナ禍前の水準にまで上昇しました。しかしながら、前期に過去最高の好業績であった家庭用フィットネス機器の販売には、一巡感が生じました。

当第2四半期の連結業績について

この結果、売上高は、コア事業である仮設機材の製造・販売とレンタル事業の回復により、前年同期比6.0％増の267億14百万円となりました。利益面においては、国際的な商品市況の影響を受けて鋼材やアルミなどの原材料価格が上昇し続けたことや、円安や海上運賃などの海外仕入に係るコストが増加したことなど、想定を大幅に上回る複数のコスト上昇によって営業利益が前年同期比5.5％減の９億22百万円となりました。経常利益は、営業外損益の改善によって前年同期比3.6％増の11億64百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、政策保有株式の一部売却による特別利益計上や法人税等の減少によって前年同期比24.1％増の7億47百万円となりました。

WEBサイトで IR情報を発信中

当社のホームページにて、2022年３月期第２四半期決算説明会資料等のＩＲ情報をご覧いただけますのでご活用ください。

URL https://www.alinco.co.jp/ir/index.html

2022年3月期の連結業績予想について

今後の見通しにつきましては、主力の新型足場「アルバトロス」を大手建設会社向けに販売開始するなど、コア事業における売上高が計画比で堅調に推移することが見込まれます。加えて、原材料価格などの上昇に対応した値上げによる利益率の改善なども見込まれることから、2022年3月期の連結業績予想については、2021年4月30日に公表した業績予想から変更はありません。

通期連結業績予想（2022年3月期）		（前期比増減率）
売上高	560億30百万円	5.0%
営業利益	29億90百万円	17.0%
経常利益	30億80百万円	7.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	20億10百万円	20.8%
EBITDA	64億20百万円	0.2%

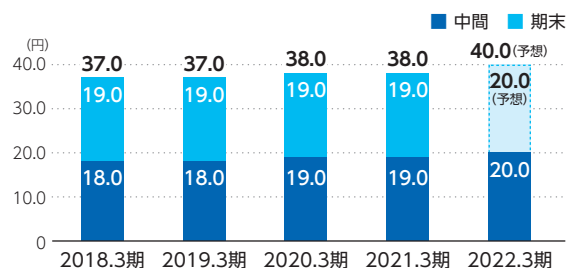
配当方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付けております。

剰余金の配当につきましては、安定的な配当の維持を基本方針とし、連結配当性向40％を目標として配当を実施してまいります。

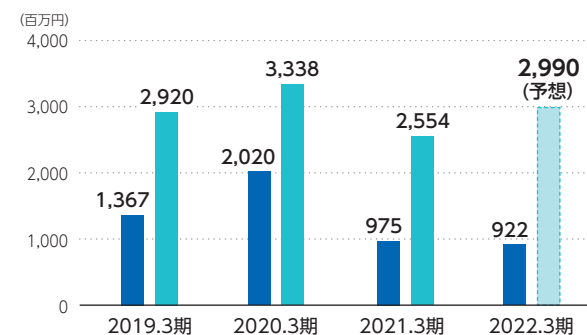
また、自己株式の取得につきましては、株価や経営環境の変化に対する機動的な対応や資本政策及び株主の皆様に対する利益還元策の一つとして、適宜その実施を検討してまいります。

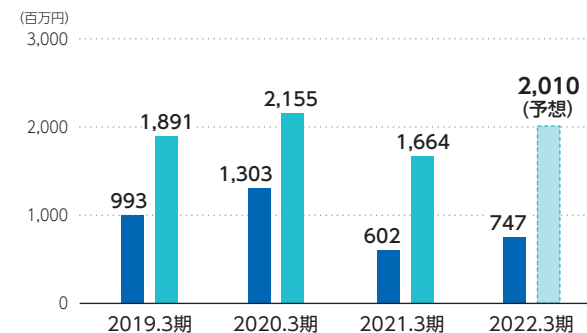
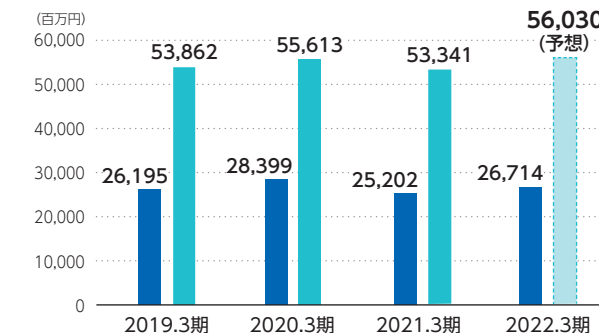
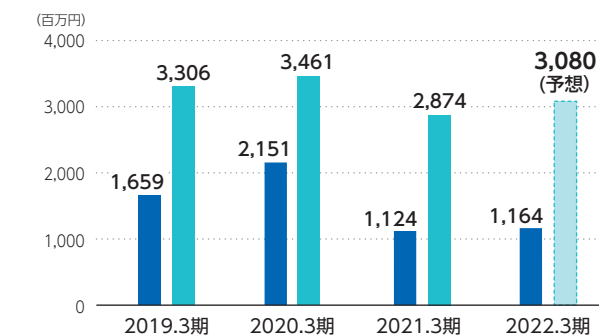
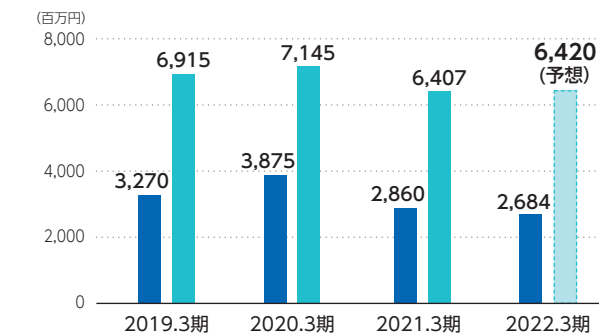
内部留保金につきましては、新型足場の市場シェア拡大に向けた投資や今後成長が見込める事業分野での積極的な新製品開発やM＆Aなどに投資を行い更なる企業価値の向上を図るとともに、競争優位性の維持に必要な財務基盤の安定にも配慮してまいります。

これらの方針に基づき、当期の中間配当金は１株当たり20円といたしました。また、期末配当金についても１株当たり20円を予定し、年間配当金は、前期比２円増の１株当たり40円を予定しております。

財務ハイライト

Financial Highlights

売上高

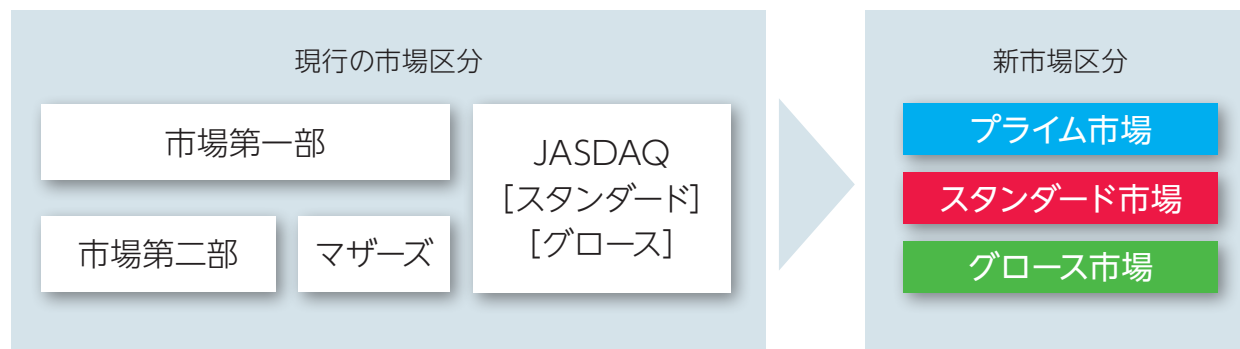
営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

EBITDA

(注) EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれん償却額

「プライム市場」の選択を申請しました

2022年4月より、東京証券取引所の市場区分が再編されます。

これに伴い、当社は2021年7月9日に上場維持基準が最も厳しい「プライム市場」適合の一次判定結果を受理しました。これを受けて8月4日開催の取締役会において、「プライム市場」を選択することを決議し、9月7日には「プライム市場」の選択を東京証券取引所に申請しました。

当社は1993年に大阪証券取引所市場第二部に上場して以来、2006年の東京証券取引所市場第二部上場、2014年の同市場第一部上場と、ステップアップしてきました。

「プライム市場」においては、多くの投資家の投資対象になりうる流動性やより高いガバナンス水準など、従来よりも厳しい基準が求められています。

当社は、経営方針である「ニッチマーケットでトップ企業に」を掲げ、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

東電子工業株式会社を子会社化しました

2021年8月、東電子工業株式会社の発行済株式の全てを取得し、子会社化しました。

東電子工業株式会社は、1979年の創業以来、プリント配線板の製造、販売を行っておりプリント配線板のメーカーとして永年にわたり顧客から高い評価を得ています。

電気製品の主要な部品であるプリント基板は、プリント配線板上に半導体やコンデンサなどの電子部品がはんだ付けされたものです。当社グループのアルインコ富山株式会社では、従来から電子部品のはんだ実装を行っており、東電子工業株式会社をグループに迎えたことによって、プリント配線板の製造から電子部品のはんだ実装までをワンストップで受注することが可能になり、受注機会の拡大が見込まれます。

この度の子会社化により、同社と当社グループの電子機器関連事業における経営資源・事業基盤を活用することにより、相互にシナジーを発揮し、当社グループの更なる企業価値の向上を図ることができます。

東電子工業株式会社の概要

所在地：東京都八王子市石川町2975番地7

代表者：代表取締役社長　東 孝之

資本金：1200万円

設　立：1980年9月24日

サイト：https://www.higasi-d.com/

多層プリント基板

福知山物流センターが操業を開始しました

2021年8月30日より京都府福知山市の長田野工業団地「アネックス京都三和」内において、福知山物流センターの操業を開始しました。

当センターは、新型足場「アルバトロス」や、アルミニウム合金製可搬式作業台「マキシムベース」など、需要の旺盛な当社の基幹製品を保管・配送する、当社最大規模の物流施設となります。これまで、兵庫工場（兵庫県丹波市）周辺に分散していた製品の保管・配送機能を当センターに集約し、業務の効率化と経費の削減を実現します。

また当センターを当社のサステナビリティへの取り組みモデル施設と位置付け、再生可能エネルギーを利用した電力や、従業員の働きやすさに配慮した設備などを導入しています。

福知山物流センターの概要

所 在 地：京都府福知山市三和町みわ小字エコートピア13番（長田野工業団地「アネックス京都三和」G区画）
敷地面積：23,917.12㎡（約7,248坪）
有効面積：17,779.43㎡（約5,387坪）
延床面積：9,091.21㎡（約2,755坪）
トラックヤード：屋根付き 面積 約550㎡（約170坪）
入 荷 場：プラットフォーム 面積 約177㎡（約50坪）

国内主要拠点等において100%再生可能エネルギーを導入しました

再生可能エネルギー利用の普及拡大は、地球温暖化対策等の観点から、当社における重要な経営課題であると認識しております。

脱炭素社会に向けた取り組みを進めるため、福知山物流センターに続き、2021年11月から、建設用仮設機材の国内製造拠点である兵庫工場をはじめ、高圧電力を使用する関西における全ての拠点（6拠点）において、100%再生可能エネルギーを利用した電力を導入しました。

他の国内拠点においても、順次、再生可能エネルギーの導入を積極的に推進し、社会のよりよい発展に貢献していきます。

兵庫工場（兵庫県丹波市）

100%再生可能エネルギーの概要

電力供給：関西電力株式会社
再エネECOプラン：https://sol.kepco.jp/ecoplan/

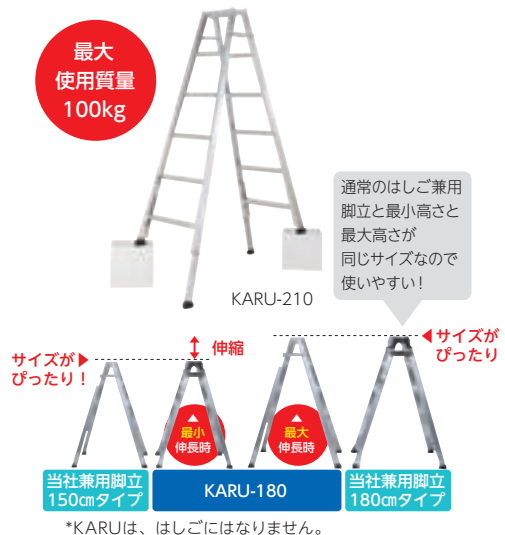
新製品を紹介します！

軽すぎる伸縮脚立「KARU」

サイズがぴったり！ 伸縮 サイズがぴったり！

最小伸長時 最大伸長時

当社兼用脚立150cmタイプ KARU-180 当社兼用脚立180cmタイプ

*KARUは、はしごにはなりません。

●伸縮脚立で業界最軽量　*2021年7月当社調べ、他社の同機種と比較しています。

当社の幅広踏ざん55mmのはしご兼用脚立と比べても、
最大約1kgの軽量化を実現しました。（KARU-210において）

KARU-120	KARU-150	KARU-180	KARU-210
5.3kg	6.2kg	7.0kg	7.9kg

●通常のはしご兼用脚立と天板高さがぴったり！

KARU型式	120	150	180	210
天板高さ	0.82〜1.11m	1.11〜1.41m	1.41〜1.70m	1.70〜1.99m

兼用脚立型式	90	120	150	180	210
天板高さ	0.82m	1.11m	1.41m	1.70m	1.99m

●安心のダブルロック仕様
シンプルで分かりやすいダブルロック仕様なので安心です。

ネックピローマッサージャー8321

両手がふさがらない、ネックピロー型の首マッサージャーです。
とっても軽量なので、いつでもどこでも気軽にもみほぐしができます。

製品の特長

- 上下反対でも使える、2WAY仕様
- 軽量（約840g）・コンパクト
- 収納袋付き
- もみ玉正転・反転
- 場所やシーンを選ばずに使える
- ヒーター機能

効果・効能
疲労回復、血行促進、筋肉のコリ・
疲れをほぐす、神経痛・筋肉痛の緩和

(MCR8321T)

(MCR8321A)

電子機器関連事業

独自の先端技術で開発された、グローバルブランド「ALINCO」

業務用無線、デジタル無線に加えて、防災・消防無線やデータ通信モジュールなど、高い品質と技術が求められる分野において、多彩な製品群で常に最新のコミュニケーションツールを提供しております。

建設機材関連事業

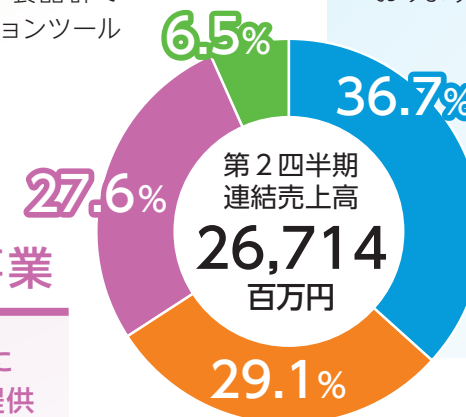
中高層建築現場で使用される仮設機材を通じて「効率」と「安全」を提供

複雑・多様化する建設現場において、作業者の安全と作業性をサポートする機材を取りそろえ、様々なニーズに最適な製品を提供しております。

総合物流保管機器で多様な物流保管ニーズに対応

ユーザーの幅広い物流保管機能の要望に、商品企画からシステム設計までの充実した技術力により、幅広い保管機器を提供しております。

第２四半期
連結売上高
26,714
百万円

6.5%
36.7%
27.6%
29.1%

住宅機器関連事業

くらしを創るプロのために「安全・快適・便利」を提供

工場や建築現場から家庭まで、幅広く作業する現場で必要とされる昇降器具、アルミ製はしご、脚立、三脚をはじめ関連製品などを提供しております。

健康から癒しへ 現代人をサポート

家庭で手軽にできるエクササイズ製品を開発提供しております。

レンタル関連事業

独自のオクトシステムで住宅足場のシェアNo.1

低・中層建築向けに、当社独自開発のくさび緊結式足場（オクトシステム）の運搬・組立・解体までを一括して請け負うサービスを提供しております。

現場の声と対話するレンタル

建築現場の環境や作業者の声に直接触れることを通して、製品開発とマーケットとの距離の短縮を図っております。

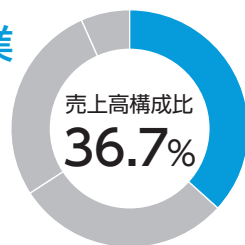
セグメント別概況 Business Segment Overview

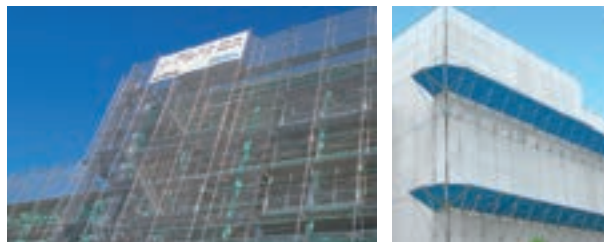
建設機材関連事業

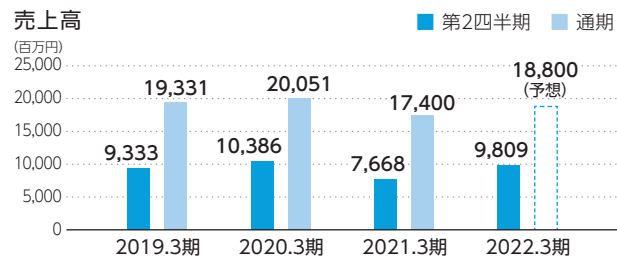
売上高

9,809百万円

（前年同期比27.9％増）

売上高構成比 36.7%

当事業の売上高は、前年同期比27.9％増の98億9百万円となりました。建設用仮設機材の販売においては、新型足場「アルバトロス」が大手建設会社での採用が決まるなど、新規顧客への販売と既存顧客からの追加購入の増加によって、前年同期比94.5％増と大幅に増加しました。また、物流倉庫向けラックの販売も引き続き好調に推移しました。

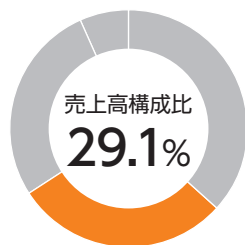
損益面では、売上高の増加によって、セグメント利益は前年同期比149.3％増の８億63百万円となりました。

新型足場（アルバトロス）

アルミ朝顔

レンタル関連事業

売上高

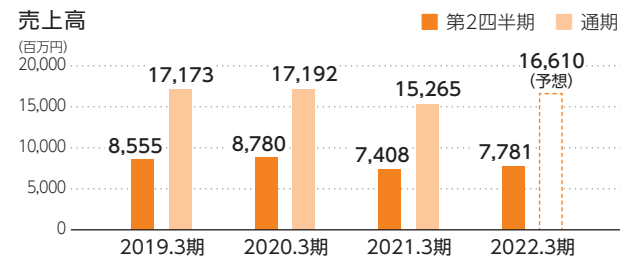
7,781百万円

（前年同期比5.0％増）

売上高構成比 29.1%

当事業の売上高は、前年同期比5.0％増の77億81百万円となりました。中高層用レンタルにおいては仮設機材の稼働率が上昇したことや、コロナ禍の影響を強く受けていたイベント向けレンタルがオリンピック関連の受注によって堅調に推移しました。

損益面では、売上高の増加によって、セグメント利益は前年同期比35.1％増の1億50百万円となりました。

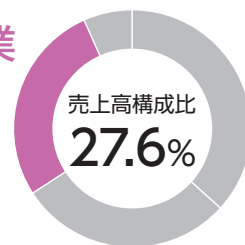
低層住宅向仮設足場（新オクトシステム）

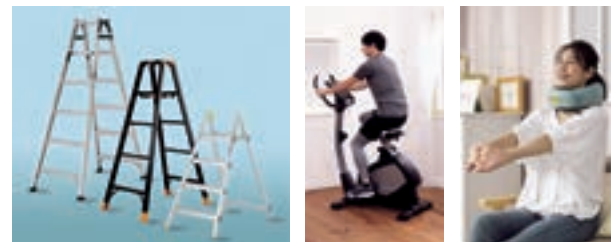
中高層用仮設足場

住宅機器関連事業

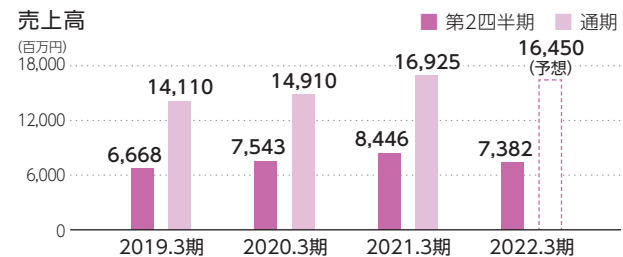
売上高

7,382百万円

（前年同期比12.6％減）

売上高構成比 27.6%

当事業の売上高は、前年同期比12.6％減の73億82百万円となりました。アルミ製はしごや脚立などの製品は、天候不順による量販店への人出の減少や展示会の開催自粛継続などの影響を受けたものの、販売は堅調に推移しました。しかしながら、前年同期に「巣ごもり需要」もあって過去最高の好業績を記録したフィットネス機器は、その反動によって販売が減少しました。

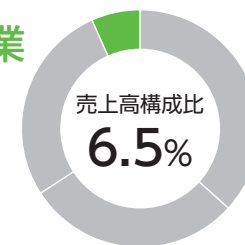
損益面では、売上高の減少と、海外からの仕入において円安による原材料価格上昇や、運送コストが上昇したことによって、セグメント利益は前年同期比5億86百万円減少し25百万円の損失となりました。

アルミ合金製脚立　フィットネスバイク

ネックピローマッサージャー

電子機器関連事業

売上高

1,740百万円

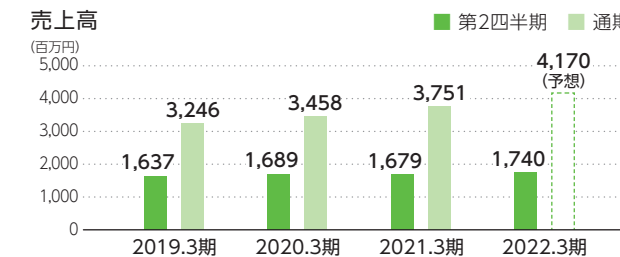
（前年同期比3.6％増）

売上高構成比 6.5%

当事業の売上高は、前年同期比3.6％増の17億40百万円となりました。半導体を中心とした電子部品の需給がひっ迫する中、サプライチェーンへの影響を最小限に止めることができ、特定小電力無線機や業務用無線機が需要の回復を確実に捉えて増加しました。

損益面では、M＆Ａによる株式取得等関連費用47百万円が発生したものの、売上高の増加によって、セグメント利益は前年同期比61百万円改善し47百万円となりました。

無線機

IoTデバイス

連結財務情報 Consolidated Financial Information

四半期連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科目		当第2四半期末 2021年9月20日現在	前期末 2021年3月20日現在
資産	流動資産	34,363	33,185
	固定資産	23,074	22,258
	資産合計	57,437	55,443
負債	流動負債	16,909	16,159
	固定負債	12,438	11,605
	負債合計	29,348	27,764
純資産	株主資本	27,343	26,877
	その他	745	801
	純資産合計	28,089	27,679
	負債純資産合計	57,437	55,443

Point
2021年8月に子会社化した東電子工業(株)を連結の範囲に含めたことに加え、福知山物流センターの竣工やレンタル資産の投資などにより、総資産が増加しました。

四半期連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期 2021年3月21日から 2021年9月20日まで	前第2四半期 2020年3月21日から 2020年9月20日まで
売上高	26,714	25,202
営業利益	922	975
経常利益	1,164	1,124
税金等調整前四半期純利益	1,224	1,235
親会社株主に帰属する四半期純利益	747	602

Point
コア事業となる建設機材関連事業及びレンタル関連事業の回復により、売上高が増加しました。また、原材料価格高騰などの影響で営業利益が減少しましたが、株式の売却益などの計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は増加しました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期 2021年3月21日から 2021年9月20日まで	前第2四半期 2020年3月21日から 2020年9月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,041	2,213
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,297	△2,667
財務活動によるキャッシュ・フロー	832	2,355
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,082	6,901

※詳細の情報をお知りになりたい方は、当社WEBサイトをご覧ください。 URL：https://www.alinco.co.jp/ir/index.html

会社情報 Company Information

2021年9月20日現在

会社概要

社名	アルインコ株式会社
英文社名	ALINCO INCORPORATED
本店	大阪府高槻市三島江1丁目1番1号
大阪本社	大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号
東京本社	東京都中央区日本橋2丁目3番4号
創業年月	1938年9月
設立年月日	1970年7月4日
資本金	63億6,159万円
上場市場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	5933
従業員数	（連結）1,390名 （単体）785名

役員

代表取締役会長	井上 雄策	常務執行役員	楠原 和広
代表取締役社長 兼 社長執行役員	小林 宣夫	常務執行役員	小嶋 博隆
取締役 兼 常務執行役員	岡本 昌敏	常務執行役員	西岡 俊浩
取締役 兼 常務執行役員	三浦 直行	上席執行役員	山本 和弘
取締役 兼 常務執行役員	坂口 豪志	執行役員	佐倉 広太郎
社外取締役	梨和 信	執行役員	松井 正典
取締役※	上村 史郎	執行役員	川上 義広
社外取締役※	野村 公平	執行役員	小土井 晃雅
社外取締役※	勘場 義明	執行役員	鶴山 伸治
		執行役員	神藤 和行
		執行役員	井上 智晶

注）※は監査等委員であります。

株式の状況

- 発行可能株式総数 …… 35,200,000株
- 発行済株式数 …… 21,039,326株
- うち自己株式数 …… 1,193,025株
- 株主数 …… 6,949名

大株主の状況（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
アルメイト株式会社	3,153	15.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,647	8.30
アルインコ共栄会	1,321	6.66
アルインコ従業員持株会	677	3.41
井上雄策	606	3.06
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	599	3.02
井上敬策	574	2.90
野村信託銀行株式会社（アルインコ従業員持株会専用信託口）	451	2.27
株式会社日本カストディ銀行（りそな銀行再信託分・株式会社関西みらい銀行退職給付信託口）	451	2.27
阪和興業株式会社	316	1.60

（注）1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
3. 当社は自己株式1,193,025株を所有しておりますが、上記の表には含めておりません。

株式分布状況